第 2012-17 号

恵みと真理のニュース

2012 年 9 月の一次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証] 礼拝させていただく幸せを享受するようにしました

私は結婚の前には 教会を通いました. しかし結婚後 婚家が先祖代代に 仏教の家庭だったから教会を通うことができなかったです. そのように 54 年の 歳月を暮したが 私の 年 74 歳になったある日に 隣りに住む 恩恵と真理教会の 首席区域長様が私を 傳導しました. その方と教会に行くという約束を何回したが いつもその約束を守ることができなかったです.

2010 年の春でした. 首席区域長様が私のために 18 年の間 祈ったというおっしゃりながら今度総力傳導の期間に必ず教会へ行こうと言いました. 日曜日 午前 8 時に 恩恵と真理教会に 行って礼拝を差し上げました. 当会長の 牧師様が説教なさるのに まるで神様がお話を伝えることのように感じられました. 私もこれから神様を信じて暮さなければいけないと言う 心に決心をするようになりました. その後 週日礼拝と,週中礼拝の時 当会長の牧師様の説教お話を聞いて その間私が偶像を仕えたのが神様に大きい過ちなのを深く悟りました. 44 年の間お寺に通いながら使った偶像の品物たちをすべて捨ててきれいに整理しました.

私の末娘がキリストイエス様をよく仕えるのにその頃 中国に住んでいました. ある日 末娘から電話がありました. “ママが 恩恵と真理教会に通う.”と言ったら末娘がとても喜んで “ママのために その間 祈祷たくさんしていました. パパとともに信仰の生活がお上手です.” と言いました. ご主人は 先祖代代に信じて来た仏教人だから教会に行かないようだという考えをしながらも夫の救援のために神様に熱心にお祈りしました.
神様が私の祈祷に回答なさって 夫も 2011 年春に 76 歳の年で 恩恵と真理教会に来て 決信して信仰の告白をしました. ご主人は洗礼を受ける日 とても喜びました. 洗礼受けるとお子さんたちに自慢もしました. もう家庭は節日の時に祭祀を差し上げないで神様に礼拝を差し上げます.
私は当会長の牧師様の説教のお話を聞いて選ばれたことを受けたさあ, 救援をもらったさあ, 永生の福を受けた者になったことに感謝のことを申し上げるようになりました. 各各の木, 花を見る時に “神様が本当に美しくしたな!” して感嘆するようになったし 太陽と月と星を見ながらも “神様が本当に美しくて 神秘的にさせたな!”して感嘆します. そして 私たちが思いきり息をして暮すことができるように空気を作ってくださった神様に感謝する心を持つようになりました. 礼拝を差し上げる時なら神様が私の心に喜びをあふれるように注いでくださってこれもありがとうございます.

私の姉娘が竜仁に暮しているのに 教会を通ってから 通ってやめました. 私は姉娘に 恩恵と真理教会に通いなさいと勧勉したし姉娘が住んでいる所で近い板橋の聖典で 決信するようにしました. その後 姉娘は教区長様と区域長様の助けを借りながら信仰の生活をよくしています. 姉娘の息子, 私の外孫は三歳の時の全身の障害になりました. 言えなくて 20 年の間寝床に横になって生活をしています. それなのに 教区長様と区域長様の助けでその息子を板橋の聖典に連れて行って 決信させました.
その後 外孫に奇妙で驚くべきな神様の恩恵が臨みました. 区域礼拝の時や 教区長 様の尋訪の時 讃頌を歌うと外孫がハミングで 讃頌を従って歌うようになりました. またこの前には全然笑わなかったがこのごろは笑ったり何やら表現をしたりします. 外孫を変化させてくださる神様に 感謝のことを申し上げます.
一度は 私が食べ物を作って持ってくれようとお姉さんの家に行ったところに倒れました. その頃にはいいと思ったが 3 日後からひどく痛い始めました. 病院へ行って MRI を撮ったが幸いにも別に異常がなかったです. しかし動きにくい位にたくさん痛かったです. 礼拝を差し上げに行くことも不可能な位でした. ところが死ねば死ぬだろうと言う覚悟で礼拝を差し上げに行きました. 真実の心で礼拝を差し上げて切実に祈ったら治療の神様が驚きべきを施してくださいました. 礼拝を差し上げた翌日, そんなにひどかった痛症が完全に治ったのです.

2012 年 3 月 総力の傳導の期間でした. 私は “一人だけでも必ず傳導するようにしてください.”と神様に祈りました. その祈祷を神様が聞いて回答してくださいました. 隣りに住んでいる方を傳導しました. 心がどんなに嬉しかったのか分からないです. ‘私も神様が喜ぶ事をした.’という胸がいっぱいな気がしたし神様に感謝しました. 全能な神様が私と一緒になさるという確信が生じました. この前に分かって過ごした人々に “私と一緒に 恩恵と真理教会に行こう.”と 傳導して彼らのために祈っています. ご主人と一緒に週日礼拝と水曜礼拝と区域礼拝を差し上げる幸せをくださった神様に感謝のことを申し上げます. うちの息子娘と, 孫子と孫娘皆 救援をもらって神様の お話に順従して神様がくださる福を受けて幸せに暮すようにお願いします.

[信仰コラム] 信仰の融通性

“..もう私が人々に良くしようか神様に良くしようか人々に喜びを求めようか私が今まで人の喜びを求めるならキリストの僕ではないだと”
(ガラデヤ 1:6-10)

人間は社会の一員に生きて行くから社会生活に適応をよくしなければなりません. そうするためには出れば出るたけよく付き合う社交性がなければならないし, 都合によって適切に仕事を処理して処身する融通性がなければなりません. 融通性は 理解の心と寛大さと協調心を持つようにしてくれます. ところで信仰の生活においては社交性と融通性が信仰を変質させる要因になることができます. 特に 融通性によって信仰の純純性を忘れてしまうとか神様を不名誉にさせて対敵するまで至る場合があります.

モセの引導でエジプトを出発したイスラエル子孫たちが市内山の下に到着した時, 神様が山の上に降って彼らに十種の誡命を親しくおっしゃった後 律法と誡命を記録した石板をくださるとモセを山に登って来るようにしました. モセが山から下るのが引き延びになると民たちはアロンを圧迫しました. アロンは民たちの要求と圧迫を受けて大衆に金の子牛の偶像を作りました. アロンは指導の原則を無視しました. イスラエルを指導する指導の原則は人が決めるのではなく神様がくださるのです. 神様の外に他の神を置いてはいけない. 偶像を作らずに仕えないと言う原則をもうくださいました.
アロンは多数の人々の機嫌を取ろうと彼らの要求に付く融通性を発揮したのです. その結果神様の震怒を得って 3千人の同族が殺されました. 非信仰的の融通性を発揮したのがそれ程の惨めな 結果をもたらしました.

ダニエル書に見れば融通性が全然なくて生真面目なユダヤ人に関する記録があります. バビロンの王 ヌブガッネサルが金で大きい偶像を作って立てた後 除幕式で総督たちと役人たちとすべての人々が 金の偶像に伏せて敬排しました.
ところでユダヤ人のサドラック, メサック, アベッヌゴは除幕式にお辞儀をしないでそのまま立っていました. 告発されてバビロン王の前に立っても便しなかったです. 彼らは結縛されたまま猛烈に燃える溶炉の中に投げられました. しかし火が彼らを害することができなかったし彼らの髪の毛も日焼けささなかったし上着もいたまなかったし, 燃えたにおいさえしなかったです. 非信仰的に融通性を発揮するので世の中の 光栄を享受するより火に燃えてたまらない方を選んだ彼らを神様が奇蹟を行って保護してくださいました. 驚くべきな姿をみって王は神様をほめたたえた後 彼らをもっと高めてくれました.

信仰の 節概を守るために融通性ないものを固守した結果がこの世で必ず奇跡的な救出や勝利を経験するようにするのではないです. しかしすべての事の結末はこの世の中で分け目になるのではなくあの世で結末を見るようになります.
これを信じるから 聖徒たちが苦難にあっても非眞理と妥協しないのです. 誰も動くことができないし変更させることができない救援の恩恵と真理の排他性は 神様が決めたのです.

非信仰的な融通性や信仰的融通性だかを点検する最上の方法は聖書のお話に照らして見るのです. また神様を嬉しくするという原則を判断しなければなりません. 誤れた融通性を排斥しようとすれば 時よっては孤独な決断を出さなければなりません. 皆さんは融通性を持つがその融通性が聖書に違反されないように察して非信仰的に融通性を排斥してさらに信仰的な融通性だけで進んでください.

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム ‘緑の牧場、清い川’ 本の語り中」

一番賢くて立派な選ぶ

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

神様は人に自由意志を与えられました．自由意志と言うのは選択と決定を自分が自由にできる意志を言います．しかし選択と決定の可能な分野があってそうではない分野があります．誰でも自分の生まれに係わるものなどは選択と決定から除かれています．いつどこで誰から生まれるようになるのかということは自由意志とは無関係です．自分の自由意志が関与することができない状況を運命的なことだと言ってこのような領域が誰にもあります．そうでも自分の自由意志で選択して決めるのが及ぶ影響と結果が非常に莫大です．運命的なことを変えることができるだけこの上なく大きい影響を及ぼします．だから選択して決める事を賢くて立派にさせるように力をつくさなければなりません．自由意志で自由に選択することができることに関してよく見ます．その中に言葉と考えと信仰があります．この三の種類に対する選択が及ぶ影響と結果は非常に深刻です．

第一，どんな考えをするはずなのかを慎重に選択しなければなりません．

人の考えは一生を牛耳るほど重大で決定的な影響を及ぼします．聖書は考えが及ぶ影響と結果に対して強調しています．箴言で 4：23 節に“油断することなくあなたの心を守りなさい命の泉はこれから流れ出るからであると” 言いました．人の出来はその人の常の考えによって形成されます．神様は私たちの考えを察してその考えを通じて働きます．エレミヤ 6：19 節には “この民に災いをくだすからそれは彼らの考えの結果”と言いました．エペソで 3：20 節に“私たちのうちに働くちからによって私たちのあらゆる求めることや思うこといっさいにあふれるように充分にかなえてくださるかたに”と言いました．神様は私たちの祈祷と考えを通じて働きます．

祈祷はお上手で考えは間違う人々が多いです．誰も祈る時間は短くて考える時間は長いです．かえって祈祷はちょっと不足でも考えを一日中に正しく持った方が良いです．しかし祈祷と考えが一致するようにすることは錦上花を添えるです．どんな種類の考えを選択するはずなのかを決めることは非常に重要な事です．今日の考えが明日の皆さんの都合になるでしょう．

それではどんな考えを持たなければなりませんか？今日本文に“私が今日天地を呼んであなたがたに証拠をする私が命と死と幸せと呪いをあなたの前に置きますのであなたとあなたの子孫が住むために命を選んで”しました．生命と福に属したことを思ってください．死亡と呪いに属した考えはきっぱりと排斥しなければなりません．

心にあらゆる考えが押して入って来て席を占めるように無防備の状態でおくのはなく生命と福に関する考えで満たすように積極的な努力をしなければなりません．庭園を捨ておけば雑草が繁茂になってしまいます．心は庭園のようで持続的に察して死亡と呪いに属した考えが侵透するとか根付く事がないように措置する一方命と福に属した考えを植えて作らなければなりません．

祈祷と讃揚そして聖書の言葉を黙想して暗誦することと福音的な説教を聞くことは汚染した考えをとり除くのにすばらしい方法であるのみならず命と福に属した考えを植えるようにすることにすばらしい方法です．聖徒の皆さんはこのようにしてどんな状況でも持続的に命と福に属した考えで心を満たしておくように願います．

第二，どんなものを言うはずなのかを慎重に選択しなければなりません．

人の言葉は一生を牛耳るほど重大で決定的な影響を及ぼします．聖書は言葉が及ぶ影響と結果に対して強調しています．箴言で 18:20 節と 21 節に “人は口から出る実にしてお腹が一杯になるだからすなわちその唇で私はのにして満足になるだと死んで生きることが舌の権勢によったのだ舌を使うのが好きな者はその実を食べよう” しました．ヤコボで 3 章には “私たちがすべて間違いが多いからもし言葉に間違いがない者ならすなわち完全な人だから充分に全身もくびき着せよう”（ヤコブ 3:2）しました．聖書は私たちに言うことに関して気を付ける点とその大切さを強調しています．神様が人を造りまた人の言葉に大きい権勢をくださったからです．そして神様が私たちが言うことを通じて働くからです．どんな種類の言葉を選択しようかと言うことは非常に重要な事です．今日言うのが明日の皆さんの都合になるでしょうからだ．それではどんなものを言わなければなりませんか？今日の本文に 私が今日天地を呼んであなたがたに証拠をする私が命と死と幸せと呪いをあなたの前におきますからあなたとあなたの子孫が住むために命を選んで”しました．生命と福に属したものを言ってください．汚されて言葉を吐き出すことはとても悪い癖です．皆さんは多くの場合に使う言葉をあらかじめ準備しておく必要があります．感情が激しくなれば良くないものを言いやすいからです．お子さんが親言葉を聞かない時 “君が将来は大きい人物になって君の主観大道するが今は親言葉を聞いて順従しなければならなくて．”と言わなければなりません．周り人の逼迫する時 “あなたがひどく逼迫することを見たらキリストイエス様を信じる日が近いようです．”と言わなければなりません．苦難の続く時 “患難は神様の福を積んで来る車であるとは信じます．”と言わなければなりません．また命と福に属したものを言うのが習慣になるまで努力しなければなりません．生命と福に関する言葉だけ選択して使うことに決心して練習しなければなりません．これは敬虔に属した演習です．実験によれば 21 日間続けば習慣になると言います．

考えと言葉の大切さに関する人々の認識と反応に関して三つの部類の人で分けることができます．一部類は考えと言葉の大切さをほとんど認識することができない人々です．

他の一部類はその大切さが分かりながらも生活に適用しない人々です．そしてまた他の一部類は考えと言葉の大切さを深く悟って生活に適用する人々です．皆さんはこの三番目部類の人になるように願います．考えと言葉には命と福に属したことと死と呪いに属したのがあります．われらの各自が今日どこに属した考えと言葉を選択するのかによって明日にその結果を見るようになるでしょう．心に抱く考えと口から出る言葉はまるで農夫が種子を畑に植えることのようで時になればその実を結ぶようになるでしょう．

第三，どんな信仰を持つはずなのかを慎重に選択しなければなりません．

イエス様は病んだ者を治癒する時“あなたの信仰のどおりなれ．”おっしゃいました．ところでこのお話は適用範囲が 治癒にだけ限るのではないです．信仰のない人はいないです．ただ信仰の性格が取り取りであるだけです．否定的な性格の信仰があって肯定的な性格の信仰があります．神様を嬉しくする信仰があって神様を逆う信仰があります．偶像に対する信仰は神様が憎むべきことのように思う信仰です．私たちは生と福に属した信仰を持たなければなりません．そういう信仰に関してよく見ます．先に，まことらしい神様を信じる信仰を持たなければなりません．まことらしい神様は創造主や罪人を救われてくださった神様です．イエス様を通じて自分を啓示なさった神様です．イエスキリストの神様を信じることに選択した人は彼の一生で最高の選択を一人です．

次に，神様のお話を信じる方を選択してください．こんな事に模範を見せた信仰の偉人たちが聖書にたくさんあるのにその中でヨシュアの例えます．ヨシュアはどんな状況でも神様が約束したみ言葉と言い付けたお話を信じる方を選びました．モセが忍者を選抜してガナアン地を探るようにする時ヨシュアも彼ら中にありました．熱も名の忍者スパイは 40 日間ガナアン地を探って帰って来て報告をしました．その中十人は探った地を悪評して否定的な報告をしました．彼らの報告した内容は現実の状況に対する正確な報告でした．しかしヨシュアとガルレブとともに現実状況より神様の口約束を信じる方を選択しました．ガナアン地を企業でくださるという神様の口約束を信じようと叫びました．しかし民たちはむしろヨシュアを殺そうと思いました．

神様は誤った信仰を持ったイスラエル民たちを広野で迷うようにほったらかしておきました．ヨシュアはリーダーになってイスラエル民たちをガナアン地で導いた後１１０歳に世を去りました．事毎にヨシュアは信仰で行いました．その信仰の基準は明確だったし一様でした．エホバ神様だけ仕えて神様のみ言葉を信じて 神様を親しくするのです．

聖徒の皆さん，何を思ってどんなものを言ってどんな信仰を持つはずなのかを慎重に選択してください．選択は自由だがその選択の結果は皆さんの責任です．聖書に基盤して聖書に合致される考えと言葉と信仰を選択するより賢くて立派な選択はないです．その結果は命と福です．神様がこれを保証します．